

## 倶多楽の火山活動解説資料

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

昨日（4月1日）13時頃から、大湯沼の南東岸で硫黄が燃焼していますが、火山活動によるものではないと推定されます。硫黄の燃焼に伴い、有毒なガス（二酸化硫黄）が発生していますので注意してください。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

昨日（4月1日）から、大湯沼の南東岸で硫黄の燃焼と煙の発生が確認されています。登別市によると、この燃焼は13時頃から発生していた模様で、16時には室蘭地方気象台も同様の状況を確認しました。

本日（4月2日）行った現地調査では、南東岸周辺で火山活動の活発化を示す新たな噴気孔の形成や噴出物等は確認できませんでした。

倶多楽では、従来から認められている大湯沼の北方や日和山の噴気活動は低調で、火山性地震の増加や火山性微動は観測されず、火山活動に特段の変化はありませんでした。

### ○ 活動評価

現地調査の結果、硫黄を発火させるような高温の火山ガスが噴出した可能性は低く、硫黄の燃焼は火山活動によるものではないと推定されます。

倶多楽では、火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

硫黄の燃焼に伴い有毒なガス（二酸化硫黄）が発生しています。二酸化硫黄は低い場所に溜まりやすいので、硫黄の燃焼が終了するまでは大湯沼付近には近づかないよう注意してください。



図1 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼周辺の状況  
（4月2日、414m山遠望カメラによる）



図2 倶多楽 遠望カメラ位置図

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.htm](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm))でも閲覧することができます。



図 3 倶多楽 大湯沼周辺図  
硫黄が燃焼している場所と写真の撮影  
方向



図 4 倶多楽 大湯沼南東岸で硫黄が燃焼している様子  
燃焼範囲の幅はおよそ 15m

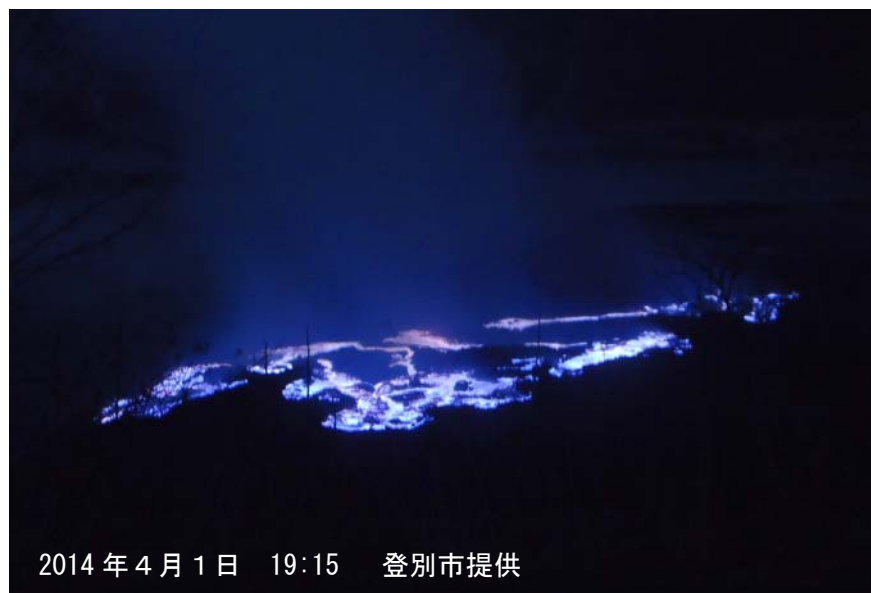


図 5 倶多楽 大湯沼南東岸で夜間に硫黄が燃焼している様子  
燃焼範囲の幅はおよそ 15m  
(概ね図 4 と同様の範囲を撮影)